# 佐久間道路第1トンスル （畆川地区） CIM式行の害施覞況と展星 

＊ 2014 ／08／27
＊大林組 佐久間浦川トンネル工事事務所 出口大輔
＊大林組 土木本部本部長室情報企画課 杉浦伸哉

## 浦川地区第1トンネルのCIM試行目的

1．設計照査に利用
＊坑口上部のアンカーと掘削範囲の影響検討などに利用

2．施工計画－協議に利用
＊施工方針決定を迅速に行う為に利用（切羽判定会議等）
3．品質管理に利用
＊施工品質情報の属性付与
4．維持管理初期モデルの提供
＊覆エCo．のひび割れ情報

## 留川地区第1トンネルのCIM嘕行構銈内容

## 実施予定項目（大項目のみ）

（1）法面補強のモデル化
坑口上部のアンカーとトンネル掘削のゆるみ影響範囲の干渉 チェック
（2）トンネル統合モデルの構築
地形•地質・トンネル情報（拡幅断面を含む）を1つにまとめて管理
（3）トンネルモデルに施工記録を付加
計測データ
支保パターン情報
施工管理情報（Co．品質，出来形）
切羽写真
覆工品質情報（Co．品質，内空断面，初期クラック，湧水）

## 涌川地区第1トンネルのCIM試行 

## 実施予定項目（大項目のみ）

（4）維持管理初期モデルの構築
竣工引き渡し前の壁面クラック情報
（施工記録情報含む）
命題：どのように維持管理で利用するのか？

## 例えば・••

供用後，覆エコンクリートにクッラク発生 $\rightarrow$ 剥落や漏水？


3Dモデルの属性情報から，施工時の記録をチェック
※時系列での整理も可能
維持管理点検時の情報を上乗せ $\rightarrow$ 原因の解明【迅速化】

## 霄川地区第1トンネルのCIM埧行活用内容

## 実施予定項目

（5）情報共有
3Dモデルを共有し，受発注者による状況確認 iPadを活用した施工情報の管理（受注者内の管理）

## 具体的事倍

## 地層モデル



主

トンネルモデル



地形点群モデル（坑回部）


地層・トンネル・坑口地形点群情報統合モテル


立

地層・トンネル・坑口地形点群情報統合モテル



## C I Mモデル作成フロ


（2）
トンネル設計モデルの作成
トンネル設計モデル作成後
（1）と（2）で作成したモデルを統合

（3）施エデータの作成と追加と更新
1）日々の切羽観察情報を記載
2）そこから作成されるCSVデータを統合モデルに追加
3）毎週この作業を繰り返す
4）共有サイトにデータをUPする

（4）現場で必要な情報の追加
毎週更新される情報モデルに
現場で必要な情報を随時追加可能

覆エコンクリートデータ等
Excel＋NavisWorks＋Navis＋


## 属性䇾理情報




## 施工での活用（施工検討）



## 低土被りの検討



## 



## 計測結果情㖕



## 計泚結果情屖

可視化により
状況把握が容易になります。
工厚（mm） 0
実施日程．．．．2014／04／04 15：32
実施日程… 2014／04／04 18：10


## 時間鏑を取り入れた管理（䢰捗管理）







## 施工での活用（設計㦏查） トンネル坑口部 法画補强

滑り面に対しアンカー を垂直に打設するが，同一平面でない複数 の滑り面が存在


問題点

- アンカーの定着面が地中で交差
- アンカーが地中で用地境界を越境


## 法闻補䜌モデル



## 法面補獄モデル



## 情竬共有 <br> （タブレットやWebサイトの活用）


†タブレットを活用した共有

Webサイトを活用した共有 $\rightarrow$

## 

佐久䏣浦川トンネル工事



必要な情報は？

納品形式？必要な情報？
メディアの利用制限？

## 施工CIMを進める上での課題

## 公共工事における業務フロー



（1）施工CIMで必要な情報は何かを整理。 （2）設計段階で作成すべき情報の整理を実施。


③供用後に必要な情報を整理。

## 今後の施IC I M推道に向けて提穼 ～施工CIM初の取り組み～

＊施工で必要なモデルの作成に関する打合 せをコンサルタントと実施する予定

＊施工CIMで実施している内容を，本トンネルの設計者である「コン サルタント殿｣や「地質調査会社殿」と打合せして，施工段階で必要な形状や地質情報などの整理を行う。

＊設計や調查段階で収集した情報を3次元で表現し，これを施工 で利用することが，CIMを実施するための基本となるため。


